

平成30年7月11日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成30年度 第1回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 7月11日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成30年 第1回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成30年7月11日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話

テーマ：「多摩川自然再生の取り組み」

講師：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
河川環境課長 榎原 賢二 様

4. 経過報告

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/14：第9回“美しき桜心の物語”の語り会

(高幡不動尊金剛寺、平野啓子副会長)【資料1】※

②4/12：JR五日市線「武蔵増戸」駅～網代弁天山～都立小峰公園～

「武蔵五日市」駅：美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、
大谷桜守【資料2】

③4/18：高尾・多摩森林科学園(桜のミニ講座付き)：美しい多摩川フォーラム、
京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

(2) 10周年記念誌完成(4/26)

(3) 多摩川“水”大学講座(5/18、6/15)【資料3】

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」(5/24～)【資料4】

(5) 平成30年度総会(5/26)【資料5】

(6) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/26～11/30)【資料6】

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/1)

- (8) 調布市環境フェア出展 (6/2) 【資料7】
- (9) 第11回多摩川一斉水質調査 (6/3) 【資料8】※
- (10) 多摩川流域魅力体験事業 (多摩川カヌー駅伝大会) 第1回実行委員会 (7/3)
- (11) 多摩川っ子 (第11号) 発行 (7月上旬) 【資料9】

～以下、当面の予定～

- (12) 狛江古代カップ第28回多摩川いかだレースに参加 (7/15) 【資料10】
- (13) 多摩川“水”大学講座 (7/20、9/21)
- (14) 第10回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21) 【資料11】
- (15) 第5回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1～)
- (16) 「多摩の物語」の語り会 (9/15) 【資料12】
- (17) 美しい多摩川フォーラムの森 (青梅) 下刈りイベント (9/22)

5. 意見交換

- (1) 平成30年度事業計画について 【資料5】
- (2) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第1回教育文化・環境清流合同部会を始めさせて頂きたいと思っております。今日も蒸していますので、事務局はクールビズで失礼させていただきます。皆さんも上着を脱いで、リラックスして話をお聞きいただけたらと存じます。なお、本日は、平成30年度初めての合同部会となります。昨年度、部会に出席された会員より、名簿を配ってほしいとの要望を受け、今年度よりお手元に座席表をお配りしております。

始めに、当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は混声四部合唱バージョンでお聞き下さい……。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(東京市町村自治調査会 総務部 総務課長 空閑 浩一 様)

空閑と申します。4月に派遣として赴任したばかりなので、右も左もわかりませんが、色々とお教えいただければと思っております。よろしくお願ひします。

(公益財団法人 東京都農林水産振興財団 花粉対策室長

花粉の少ない森づくり運動担当課長 阿部 宏美 様)

阿部と申します。部署名から想像していただけるとは思いますが、花粉を多く発

生させるスギやヒノキを伐採し、花粉の少ないスギ等を植えるハード事業を行っております。また、ハードを支えるソフト事業として、募金活動を行っております。美しい多摩川フォーラムさんにおかれましては、募金活動に多大なるご支援をいただき、有り難うございます。この場をお借りして御礼を申し上げます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 立川支店 副支店長 四宮 正臣 様)

四宮と申します。私は多摩地区で生まれ、多摩地区で育ち、多摩地区で働いております。今日は勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(NPO法人 多摩川エコミュージアム 副代表理事 五十嵐 豊 様)

五十嵐と申します。私どもは、多摩川中流域の登戸にある「二ヶ領せせらぎ館」で活動しております。「二ヶ領せせらぎ館」は国交省が建てた建物ですが、ここには会議室と展示室があり、展示室の運営・管理をNPO法人多摩川エコミュージアムが務めております。今日はよろしくお願ひいたします。

(藍澤証券株式会社 ソリューション第一部 片倉 司 様)

片倉と申します。今日は代理出席させていただきました。藍澤証券は、7月7日に創業100周年を迎えました。私はもともと日本アジア証券にいましたが、7月1日に藍澤証券と統合しました。もう少し遡ると、2012年に多摩証券が日本アジア証券と統合し、今回、日本アジア証券と藍澤証券が統合しました。美しい多摩川100年プランと共に、我々も次の100年を歩んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(辻下 修 様)

辻下と申します。私は長年、海洋環境調査に携わってまいりました。河川の環境にも興味がありますので、今日はよろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。はじめに資料の確認ですが・・・(省略)。また、席上配付資料として、公益財団法人東京都公園協会が発行している広報誌「緑と水のひろば」2018年7月号を配布させていただきました。内容については、後ほどご説明させていただきます。

なお、本日は教育文化部会長の平野副会長は出張のため、欠席となりました。渡邊環境清流部会長に進行をお願いしております。それでは渡邊部会長に開会の

ご挨拶をよろしく申し上げます。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

皆さんこんにちは。本日は大変暑い中、ご出席いただき有り難うございます。西日本では記録的な豪雨となりました。河川に関わる者として、災害に対する常日頃の準備が重要であると改めて感じております。

さて、本日の部会は、次第にあるように、「多摩川自然再生の取り組み」と題する講話、経過報告、意見交換を予定しておりますので、皆様のご協力をお願いします。

3. 講話

(事務局)

それでは、先般の当部会の開催通知でご案内したとおり、本日は、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所河川環境課長の榎原賢二様に講師をお願いし、「多摩川自然再生の取り組み」と題するご講話をいただきます。多摩川の自然再生の取り組みについて、現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。それでは、榎原様、よろしくお願いいたします。

(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 河川環境課長 榎原 賢二 様)

皆さんこんにちは。本日は「多摩川自然再生の取り組み」についてお話させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず講話資料の表紙をご覧ください。左の写真3枚は、御岳溪谷、多摩川台公園、多摩川河口で、「多摩川八景」の中の3つです。この「多摩川八景」は、多摩川に関心を示してもらうことを目的として、昭和59年4月に選定されました。そのほかに「多摩川50景」もあります。

本日は、1. 多摩川の河川環境の特徴、2. 多摩川河川環境管理計画の概要、3. 多摩川の河川環境の課題、4. 自然再生対策の状況、5. 今後の多摩川の河川環境管理、の順に説明していきます。

1. 多摩川の河川環境の特徴

多摩川を上流・中流・下流に分け、河川環境の特徴をお話しします。

【上流（源流～羽村取水堰）】

源流部や上流域は山岳溪谷美に富んだ清流となっており、秩父多摩甲斐国立公園地域に指定され、溪流巡りや山歩きなどの場として首都圏のハイカーに親しまれている。ヤマメ・カジカ等も見られます。

【中流（羽村取水堰～調布取水堰）】

礫河原をなし、カワラノギクやカワラサイコ等、河川敷に特有な植物も見られますが、近年は減少傾向にあり、ハリエンジュが繁茂、川の中が樹林化しています。

【下流（調布取水堰～河口）】

河口付近の汽水域にはヨシ原が広がり、ヒヌマイトトンボや鳥類等の貴重な生息域となっています。都市と河川が調和した良好な河川景観を形成しています。

2. 多摩川河川環境管理計画の概要

次に、少しかたい話になりますが、多摩川河川環境管理計画の概要について説明します。昭和40年代、多摩川沿線では都市の過密化が急激に進行しました。それに伴い、多摩川河川敷は、都市部に残されたオープンスペースとして利用ニーズが拡大しました。一方、河川環境の保全と利用の調和が求められ、昭和55年に「多摩川河川環境管理計画」が策定されました。これは、ゾーニング計画に基づいて河川空間管理を実施するものです。その後、平成9年に河川法が改正され、「河川環境の整備と保全」が明文化されました。平成13年には、「多摩川河川環境管理計画」が改訂され、「多摩川河川整備計画」が策定されました。

「多摩川河川環境管理計画」は5つのゾーンと8つの機能空間で区分されていますが、これは有識者や市民の意見を踏まえています。8つの機能空間は、それぞれ人工系空間と自然系空間に分かれておりますが、多摩川で一番特徴的なのは、⑧生態系保持空間で、全人類の見地から学術的に価値づけられる、広域的に見た貴重な生態系を保持しようとする空間のことで、国が指定して植生等の保全や学術研究目的等以外での人の出入りを規制しているエリアです。

次のページは空間管理計画図で、河川環境の自然度や施設の整備状況等に応じて、機能空間がきめ細かく配置されています。⑧生態系保持空間は濃い緑で色付けされています。多摩川は17カ所が指定されています。人工系空間と自然系空間の割合は、4対6で指定され、利用を規制しています。

3. 多摩川の河川環境の変化

次に、多摩川河川環境の変化について説明します。先ほど少しお話しましたが、昭和51年当時と比べ、樹林地が増加し（約5倍）、礫河原や草地面積が減少するなど、高水敷の環境変化が生じています。このグラフは昭和51年と平成22年の比較になりますが、特に中・上流部の⑧生態系保持空間で、樹林地面積の増加が著しく、ハリエンジュ等の外来植物が大半を占めています。

こちらは昭和49年と平成19年の航空写真ですが、昭和49年は礫河原だったのに比べ、平成19年は樹林化の進行が著しく、河原環境、自然植生域が失われています。堰下流の河道では、濬筋の固定、河床洗掘に伴い、低水路と高水敷の比高差が大きくなり（河道の二極化）、高水敷の樹林化を助長しています。

こちらと同じく昭和49年と平成19年の航空写真ですが、河口部では、ヨシ原に土砂が堆積し面積が拡大（陸化）することで、干潟の面積が減少しています。また、干潟の減少、ヨシ原の乾燥化に伴い、ウラギク、シオクグなどの希少な塩生植物が生育する湿地や、ヒヌマイトトンボの生息地が減少しています。

4. 多摩川の河川環境の課題

次に、多摩川河川環境の課題ですが、昭和55年に「河川環境管理計画」が策定されてから約40年を経て、⑧空間を含む自然系空間全体として、高水敷の樹林化等による自然環境の変化（在来植生の減少等）が著しく、河口部も干潟の減少が見られるなど、多摩川らしい自然環境が失われてきています。また、自然に任せる（人が手を加えない）ことを原則とした⑧空間の管理手法には限界があります。そこで現在は、自然環境の保全・再生、維持管理に関する知見を得るため、自然再生対策を試験的に実施しています。

現在、多摩川で自然再生対策を実施している場所は、①永田地区、②谷地川合流点地区（多摩大橋周辺）、③浅川合流点地区の3カ所です。ひとつずつ説明していきます。

① 永田地区

かつては小起伏に富んだ地形が多様な植生を生育させるとともに、広大な礫河原には礫河原固有のカワラノギクが広く分布（多摩川、鬼怒川、相模川の3カ所で生育）する等、中流域上部の自然植生をよく残す区域でした。しかし、外来樹木ハリエンジュの拡大が顕著であり、礫河原の減少や旧川跡が埋没する等、河川環境が劣化したため、平成13年より、樹木の伐採、及び高水敷の掘削により、5つの工区を造成しました。A工区はカワラノギクの緊急保全区として河原を造成し、地域と連携した管理を実施、B・C・D工区は徐々に冠水頻度が高くなるように掘削され、B・C工区では河原を造成しました。

A工区へ播種による導入を行った結果、それらが種子供給源となって、A工区外、および永田地区全域までカワラノギクの生育場所が拡大しました。カワラノギクは播種を行った管理区から分散し、分布を拡大していることが確認されており、緊急保全対策によって短期的に個体群の再生を図るという目的は、十分に達成できたと評価できます。

平成7年より、市民・流域自治体・研究者・河川管理者により、かつて多摩川の礫河原のシンボルであったカワラノギクの保全・再生を目的とした「カワラノ

ギクプロジェクト」を実施しています。カワラノギクの緊急保全区としたA工区では、約年3回の市民等と連携した維持管理（雑草の人力伐根）により、カワラノギクの生育に適した良好な礫河原が維持されています。

② 谷地川合流点地区（多摩大橋周辺）

かつては、多摩川のなかでもオギ等の自然植生域が最も広く分布し、礫河原、池、水路などの複雑な地形が形成されていました。しかし、外来樹木ハリエンジュやツル植物の拡大により植生が単調化するとともに、礫河原や流路跡の池が減少する等、河川環境が劣化したため、治水・環境対策を実施しました。施工前はハリエンジュが優占していましたが、自然再生対策により礫河原環境が再生され、平成29年7月現在、施工後3回の出水により礫河原環境が維持されています。平成26年には、地域住民の理解を促進するため、河川管理者、自治体、地域住民、市民団体、大学、工事関係者の計41名が参加してオギ根茎土の敷設作業を実施しました。

③ 浅川合流点地区

昭和49年には、複雑な流れや地形が形成され、中流域の自然植生をよく残し、多摩川におけるカワラヨモギ・カワラサイコ群集の最大の生育地でしたが、平成19年には礫河原が減少するとともに、河原植生域にハリエンジュやシナダレスズメガヤの侵入、ゴルフ広場等の人為的な圧力等により河原植物が消滅寸前になる等、河川環境が劣化しました。そこで、礫河原再生対策を実施し、I期施工では樹木を伐採し表土を50cm掘削しました。II期施工では、1.1mの表土を掘削し、ハリエンジュの根を除去しました。結果、自然再生対策やその後の維持管理により、草丈が低く、まばらに植物が生育しており、河原植物の生育に適した光環境が維持されています。また、河原植物が早期に定着し、施工3年目にはカワラヨモギがマット状に生育するほど拡大しました。自然再生対策の2年後から、河原植物の生育地にシナダレスズメガヤが急激に再生・拡大したため、河川管理者、自治体、市民団体による維持管理を3回実施しました。

5. 今後の多摩川の河川環境管理の方向性（検討課題）

幅広い視点から環境上の価値が高い箇所（優先的に保全すべき箇所）を評価・抽出すること、人との関わりで維持管理していくことも前提とした、河川環境管理（機能空間配置）を検討していくこと、また、効果的な自然再生対策の手法・進め方を確立することが、今後の検討課題となります。

説明は以上ですが、内容が難しかったと思います。多摩川は礫河原なので、荒川や江戸川など、礫河原ではない河川と比べてとても特徴的な川だと思います。今後も色々な問題が出てくると思いますが、検討会などを開いて色々な意見を聞きながら進めていきたいと考えております。

6. 多摩川改修100年

最後に映像を流します。1918年から多摩川の直轄改修を始めて今年で100年になります。現在、色々なイベントを企画しています。写真のパネルラリーや合唱コンクールを考えております。約9分間の映像をご覧ください。

—映像（9分間）—

（事務局）

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。特に無いようでしたら、榎原様に今一度拍手をお願いします。有り難うございました。

4. 経過報告

（事務局）

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに（1）番の①、（9）番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

（1）多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/14：第9回“美しき桜心の物語”の語り会（高幡不動尊金剛寺、平野啓子副会長）【資料1】※

- ・【資料1】をご覧ください。このたびの「桜の語り会」のご後援を始め、会場の段取り等全面的にバックアップいただいた日野市環境共生部緑と清流課長の平義彦様に、ご感想等一言お願いします。

（日野市 環境共生部 緑と清流課長 平 義彦 様）

4月14日に、高幡不動尊金剛寺において桜の語り会を開催しました。平野副会長は、瀬戸内寂聴の「しだれ桜」を全文暗誦でそらんじていらっしゃり、約1時間の公演ですっかり感銘を受けました。当初は定員60名でしたが、3月1日に受付開始後すぐ定員に達してしまい、3月15日号の日野市広報で募集できなかったらまずいということで、急きょ85名まで枠を広げました。先ほどの

ビデオを拝見し、当日を思い出して感動が蘇ってまいりました。昨年の秋から事務局と一緒に準備をはじめ、無事に終わってホッとしております。有り難うございました。

②4/12：JR五日市線「武蔵増戸」駅～網代弁天山～都立小峰公園～

「武蔵五日市」駅：美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

③4/18：高尾・多摩森林科学園（桜のミニ講座付き）：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、くにたち桜守の大谷和彦さんをガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを4月12日に実施しました。また、翌週18日の桜ウォーキングについては、今年も京王電鉄様と連携し、多摩森林科学園の吉丸元園長さんのご協力により、事前に桜のミニ講座を実施し、桜の知識や見所について丁寧に解説していただき、大変充実したイベントになりました。

(3) 多摩川“水”大学講座（5/18、6/15）【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。今年度はとうきゅう環境財団様との共催のもと、5月18日に開講しました。7年目となるこの講座ですが、講師には引き続き、小倉副会長にお願いし、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」(5/24～)【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。5月24日より、東急百貨店の本店をはじめ10店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコチャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店様のCSRの一環として企画されたもので、今年で9回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立てております。皆さん、ぜひお早めにお買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。……ということですが、本日は事務局で多少ご用意がありますので、1個300円になりますが、お帰りの際にお求めいただけたらと存じます。なお、お預かりした金額は、まとめて東急百貨店にお振込みさせていただきます。

(6) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力 (5/26~11/30) 【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。皆さん、ぜひお出かけいただき、チャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/1)

- ・青梅信用金庫では、平成28年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月1日に、3年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(8) 調布市環境フェア出展 (6/2) 【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第46回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査などの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(9) 第11回多摩川一斉水質調査 (6/3) 【資料8】※

- ・【資料8】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域75地点の調査を実施し、山崎運営委員には多摩川下流域10カ所の採水、渡邊環境清流部会長には多摩川上流域2カ所の採水および75カ所の調査にご協力をいただきました。今回の調査は、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、亜硝酸態窒素を、専門の計測器等を使って調査しました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。本件につきまして、渡邊環境清流部会長に簡単にご説明をお願いします。

(渡邊部会長)

まず【図1】多摩川本川のCODをご覧ください。皆さんが測定したデータをグラフ化したものです。【図2】は多摩川支川のCODです。【図3】は多摩川本川の電気伝導率です。水の中にプラスイオン、マイナスイオンがあると電気が通りやすくなります。46番までは数値が低く、綺麗であると言えます。47番で急激に数値が高くなりますが、この場所は多摩大橋下で、下水処理水が入ってくる場所でもあるからです。47番以降、流域下水道は6カ所、市の下水道が4カ

所で、合計10ヵ所の処理水が多摩川に入ってきますので、数値が高くなっていきます。71番以降、数値はさらに高くなりますが、これは海水が混じるためです。東京都や国土交通省では部分的にしか測定しておりませんが、私どもは連続して測定していますので、数値の変化が良くわかります。

皆さんは下水道を見学したことがあるかどうかわかりませんが、本日、皆さんに多摩川上流水再生センターと八王子水再生センターのパンフレットをお配りしたのでご覧ください。パンフレット右下にBODやCODの数値が記載されています。例えば多摩川上流水再生センターでは、流入水のCODが110に対し、処理後の放流水は8まで下がっています。かなりきれいになっています。下水処理場ができる前は、110のまま放流されていました。放流水の隣に清流復活用水6と記載されていますが、これは玉川上水や野火止用水のことです。八王子水再生センターの数値を見ると、放流水のCODは9となっています。これらが多摩川に放流され、やがて東京湾に流れ着きます。下水処理場の能力は、今はこれが限界です。

次に多摩川本川の水質測定結果のグラフ化をご覧ください。東京都環境局のデータを私がグラフ化しました。これを見ると、拝島橋から日野橋にかけて数値が急に上がります。硝酸対窒素のグラフも同様です。これはやはり下水処理水が入ってくるからです。また、国土交通省のデータで、糞便性大腸菌のデータがあります。これは1,000以下でなければいけないとなっていますから、1,000を超える場合は今後検討しなければならないと思います。

裏面をご覧ください。魚にとって重要な亜硝酸態窒素・アンモニウム態窒素ですが、やはり下流にかけて数値が高くなっています。また、六郷橋の溶存酸素・アンモニウム態窒素ですが、水の中の酸素量を1回/月で測定しています。本来、魚が生息するには5以上必要なのですが、6月1日は1.8となっています。溶存酸素が少なくなると、アンモニウム態窒素の数値は上がります。魚に悪影響のある数値です。今日は、皆さんが普段あまり見ないと思われるものについてグラフ化してみました。

(10) 多摩川流域魅力体験事業(多摩川カヌー駅伝大会)第1回実行委員会(7/3)

- ・ 青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、昭島市、八王子市の6市と連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会の開催日が11月24日に決定しました。これは、東京都市長会の助成事業で2年目に当たります。今年も青梅から昭島まで約17kmのコースで四つの堰を駅伝の中継地とし、カヌー走者がたすきの代わりにカヌーを引き継ぐカヌーマラソン大会を計画しております。美しい多摩川フォーラムも6市に協力してこの事業を盛り上げ、誘客に努めていきたいと存じます。

(11) 多摩川っ子 (第11号) 発行 (7月上旬) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今回で第11号になりますが、今年も7月上旬に発行する予定です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

～以下、当面の予定～

(12) 狛江古代カップ第28回多摩川いかだレースに参加 (7/15) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。美しい多摩川フォーラム号には、ダニエル・カール副会長、平岡副会長ほか、アテネオリンピック日本体操男子団体金メダリストの富田洋之さんが乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしく願いいたします。

(14) 第10回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21) 【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年も、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、7月17日より受付を開始いたします。

(15) 第5回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1～)

- ・ 本年も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただく方向で進めております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載いただけるように準備を進めております。今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

(16) 「多摩の物語」の語り会 (9/15) 【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。今年も二子玉川ライズ・オフィス8階のカタリストBAにおいて、「多摩の物語」の語り会を開催します。昨年同様今回も、世田谷区様のご後援をいただき、8月1日の区報に募集記事を掲載いただく方向で進めております。また、東京急行電鉄様の全面的なご協力のもと、8月から9月にかけて、沿線23駅（田園都市線9駅、世田谷線10駅、大井町線4駅）にポスターの掲出をいただく予定です。

(17) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）下刈りイベント（9/22）

- ・ 【資料5】の3ページ目、9月の予定をご覧ください。昨年は9月に10周年事業として桜の記念植樹を実施しました。今年は、桜の成長を確認しながら、周囲の下刈りを行うイベントを計画しております。以上で経過報告を終わります。渡邊部会長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。無いようですので、意見交換に進めます。

5. 意見交換（部会長）

(1) 平成30年度事業計画について【資料5】

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

【資料5】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,950,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、水辺の事業委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,366,366円と合わせて合計では12,666,366円となります。

一方、支出の部ですが、ホームページ運営費について、保守委託管理費の見直しを行い、大幅に減額しました。また、6月19日にADSL回線から光回線に移行致しました。次に、多摩川夢の桜街道～札所見直しについては、10周年記念事業の一つとして平成29年度に見直し作業に着手しており、携帯マップ改訂費用として756,000円を計上しております。なお、公式ホームページ改訂費用2,862,000円につきましては、平成31年度の予算に計上したいと考えております。「フォーラム・御岳の森」の改修工事については、木柵の老朽化により実施するものです。工事の日程につきましては、緑の大地会様と調整中です。また、東北・夢の桜街道運動として、これまで2,000,000円を計上してまいりましたが、事務局を務めていた青梅信用金庫様が、6年の復興支援が経過した平成29年7月に、東北復興支援で一定の役割を果たしたとして事務局を返上したことにより、2,000,000円の拠出金は平成29年度を以って終了することになりました。その後、東北・夢の桜街道運動は、信用金庫業界のご支援を得て運動を継続しております。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き東北・夢の桜

街道推進協議会の構成員として機能しております。また、10周年記念事業の一つとして、平成29年度に予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、第1号議案でご説明のとおり平成30年度予算に計上しております。この結果、次期繰越金見込額は3,684,366円となり、合計では、12,666,366円となります。

2ページ目は、平成30年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。3ページ目は平成30年度主な活動予定、4ページ目は平成30年度・会議の予定になります。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。無いようでしたら、次に進めます。その他、事務局からありますか。

(2) その他

(事務局)

席上配布資料の公益財団法人東京都公園協会が発行している広報誌「緑と水のひろば」2018年7月号をご覧ください。冊子は回覧させていただきますが、お手元資料の2枚目をご覧ください。ご覧のとおり、小倉紀雄先生が執筆されております。後ほど、ゆっくりとご覧いただけたらと存じます。

本件につきまして、小倉副会長に簡単にご説明をよろしく申し上げます。

(小倉副会長)

「緑と水のひろば」2018年7月号で「多摩川を歩く」という特集を企画するということで、協力させていただきました。私の執筆は5ページまでで、それ以降は東京都公園協会事務局が執筆を担当しました。京浜河川事務所の資料を参考にし、総論を書きました。多摩川は万葉集にも紹介されていて、歴史のある川です。多摩川の伝統的な文化であるいかだ流し、鶺鴒い、渡し等もありました。また、都市の経済活動を支えた農業用水や砂利採取もありました。さらに、洪水と治水の対策について簡単に紹介し、水質汚染と回復では、市民による水質調査は1984年に始まり、現在も継続的に行われるようになったと書いています。写真は東京都公園協会に用意いただきましたので、見やすい冊子になっているのではないのでしょうか。

(事務局)

有り難うございました。私の感想ですが、掲載記事を見て、実際に多摩川を歩

いてみたいと思いました。ご説明いただき、有り難うございました。渡邊部会長、よろしくお祈いします。

(渡邊部会長)

それでは全体を通して何かご質問、ご意見はございますか。櫛原様に伺います。先ほど水質調査での私の説明で、何かおかしなところはありませんでしたか。

(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 河川環境課長 櫛原 賢二 様)

溶存酸素について、月毎に数値が違うのは、干潮・満潮の違いではないでしょうか。

(渡邊部会長)

有り難うございました。多摩川下流は、干潮・満潮で東京湾から海水が上がってくるので、それに影響しているのではないかとということです。他に質問やご意見はありませんか。

(NPO法人 多摩川エコミュージアム 副代表理事 五十嵐 豊 様)

「多摩川を歩く」という記事を読みましたが、11月頃、ジャカルタからお掃除クラブを呼ぶ予定です。秋に多摩川上流を歩くとしたら、どこがお薦めでしょうか。

(渡邊部会長)

小澤酒造さんの周辺は、遊歩道もあり秋の紅葉が楽しんでお薦めです。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

上流ですと、いまお話があった通り、御岳から軍畑までの遊歩道を歩くことができます。川ではラフティングなどのスポーツアクティビティも盛んです。また、奥多摩駅から鳩ノ巣溪谷も歩くことができます。白丸ダムの南岸がきれいです。さらに上流であれば、奥多摩むかし道もあります。

(NPO法人 多摩川エコミュージアム 副代表理事 五十嵐 豊 様)

有り難うございました。

(事務局)

上流には遊歩道があり、紅葉の時期や新緑の時期など、四季折々楽しめると思います。

6. 総括・閉会（部会長）

（渡邊部会長）

今日は、榊原様に貴重なご講話をいただき、有り難うございました。現在は生態系保持空間3カ所の対策を行っているということです。最近はハリエンジュ等、色々なものがはびこっていますが、昔ながらの多摩川を取り戻そうと頑張っているらしいです。有り難うございました。また、沢山の経過報告がありました。今後の事業については、ぜひ皆さんにも参加していただきたいと思います。それでは、第1回教育文化・環境清流合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上